

【2021 オンライン開催版】

第12回日本学校教育相談学会中国四国ブロック研修会 実施要項

1. 目的 日本学校教育相談学会中国・四国ブロック会員の資質向上
2. 主管 日本学校教育相談学会鳥取県支部
3. 後援 岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・倉敷市教育委員会（申請中）
4. 参加対象 日本学校教育相談学会中国・四国ブロックの正会員・院生会員・学生会員  
準会員，広島こころネット会員の方
5. 参加人数 80名程度
6. 日時 2021年11月13日（土）13:00～17:00
7. 場所 **Zoomによるオンライン開催**
8. 日程 13:00～ 開会行事  
13:10～15:00 講演会  
**講演テーマ「愛着障害と発達障害の理解と支援」**  
**講師 和歌山大学教育学部 心理学教室 米澤好史 教授**  
15:00～15:20 閉会行事  
15:20～17:00 分科会（ただし第3分科会は16:00まで）終了後解散

9. 分科会内容紹介

○第1分科会（愛媛県）

ストレス対処能力を高めるストレスマネジメント教育の研究

－思春期における『心の健康』の授業実践を通して－

<内容>

日本学校保健会の調査によると、保健室来室に背景要因がある児童生徒の多くが「友達との人間関係の問題」を抱えていることから、児童生徒の人間関係に起因するストレスへの対処能力の向上が喫緊の課題であると感じていた。そこで、思春期における心身の健康問題の予防や改善に向けて、小、中学校でストレスマネジメント教育を取り入れた授業を実践してきた。本会では、ストレスの理解やリラクセーションの習得、認知行動療法の考え方を取り入れた保健教育の内容を紹介したい。加えて、ストレスに対処できず、不登校や別室登校になる生徒に対して、養護教諭としてSCやSSW等とどのように関わっているかを紹介し、参加者と意見交換を行いたい。

<発表者紹介>

◇古川 弥生 伊予市立双海中学校 養護教諭

平成30年度、愛媛県総合教育センターに長期研修生として在籍し、「ストレス対処能力を高めるストレスマネジメント教育の在り方」の研究に取り組む。研究協力校において、児童のストレスへの対処能力を高めるための授業実践を行い、同センターの調査研究発表会にて研究結果を発表した。令和元年度より、現任校に赴任し、中学生を対象としたストレスマネジメント教育の研究を続けている。愛媛県教育研究協議会主催の第52回愛媛県教育論文において、研究主題「ストレス対処能力を高めるストレスマネジメント教育の研究」で、入選となる。

### ○第2分科会（高知県）

#### 校内支援体制づくりと教育相談コーディネーター

<内容>

教育相談等に関する調査研究協力者会議（2017）では、「組織的な連携・支援体制を維持する」ことが、教育相談コーディネーター配置の目的とされており、その養成は所属校の校内支援体制づくりと連動して進めることが必要と考えられます。筆者は、令和23～27年度にかけて、高知県内の県立高等学校を対象として校内支援体制づくりと教育相談コーディネーター養成を並行して推進する「生徒支援コーディネーター研修」を担当しました。本分科会では、校内支援体制づくりにおける教育相談コーディネーターの役割と機能、その養成研修のあり方について提起し、参加者の方と協議できればと考えています。

<発表者紹介>

#### ◇今西一仁 高知県立高知北高等学校 主幹教諭/兵庫教育大学大学院非常勤講師

高知県立高等学校の国語科教員（教育相談担当）として勤務後、高知県心の教育センターにおいて、相談・研修業務と並行して県立高等学校を対象とした教育相談コーディネーター養成と校内支援体制づくりに取り組む。公認心理師。

### ○第3分科会（島根県）

#### 保護者と学校のよりよい関係を考える

#### －保護者との関係づくりに活かす校内研修パッケージの提案－

<内容>

島根県教育センター教育相談スタッフ・相談セッションでは、平成30年度より3年間、標題の共同研究に取り組んできました。保護者と学校のよりよい関係づくりをテーマとした校内研修プログラムを開発し、「校内研修パッケージ」として学校に提供することにより、学校のOJT支援をすることを目的とした研究です。多忙な学校現場でも負担感少なく取り組むことのできる研修を提供したいと考え、本パッケージを作成しました。今回の分科会では、この研究の取組の実際と、完成した「校内研修パッケージ」の概要について紹介し、実際にご参加の皆さまに研修プログラムの一部を体験していただきたいと考えています。

<発表者紹介>

#### ◇笹原 由乃 島根県教育センター 指導主事

島根県内で小学校教員としての勤務を経て、平成29年度より島根県教育センター指導主事となる。現在は主に教育相談事業や生徒指導・教育相談に関する研修事業を担当している。

### ○第4分科会（岡山県）

#### ポジティブ行動支援で元気な学校づくり

#### －学校全体で取り組むPBISを活用した教育活動の実践－

<内容>

岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校では、令和元年度より2年間、中教研浅口支部から研究指定を受け、標題の研究に取り組んできました。これまで、子どもを認める指導や、ほめる指導は多くの学校現場で行われてきましたが、実践を検証された例は少なく、学校規模での取り組みの効果検証が行われた研究は少ないのが現状でした。ポジティブ行動支援は、「これまでの勘に基づいた指導」ではなく、応用行動分析学の理論に基づいた「エビ

## 【2021 オンライン開催版】

デンスに基づいた指導」を目指すものです。今回の分科会では、この研究の取り組みについて紹介し、ご参加の皆さまの今後の教育活動等への参考になれば幸いです。

<発表者紹介>

### ◇池田 敬治 岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校 校長

岡山県内で中学校教員としての勤務を経て、平成23年度より8年間、岡山県教育庁教職員課にて勤務。平成31年度（令和元年）より現職。

### ◇入江 伸一 岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校 教諭

新採用として里庄中学校に赴任し5年目。担当教科は理科。日々の授業実践や学級経営などで、ポジティブ行動支援を念頭に置いた指導を行っている。上記研究指定において、校内研究委員会メンバーの一員（学校づくり部会部会長）。

### ◇松山 康成 香里ヌヴェール学院小学校 教諭／広島大学大学院教育学研究科

大阪府公立小学校での12年の勤務を経て現職。自ら学校現場で実践研究に取り組むと同時に、日本ポジティブ行動支援ネットワーク（APBS-J）理事として、日本各地の学校現場へのポジティブ行動支援の導入・展開に関する学校コンサルテーションに取り組んでいる。

## 10. 参加費 **無料**

## 11. 申込方法【メールのみ】※必ず件名に【中四申込】と記してください。

申込用 Excel ファイルの表に必要な事項を明記したものをメールに添付してお申し込みください。または、メールに「①氏名・②支部名（準会員・広島こころネット会員の方はその旨）・③所属（勤務校等）・④連絡先メールアドレスまたは携帯番号・⑤分科会の希望（第1希望・第2希望）」を明記してお申し込みください。なお、申し込み多数の場合は先着順で受付させていただきます。申し込み多数でお断りする場合は事務局から連絡いたします。

## 12. 申し込み締切 2021年11月6日(土)18:00 厳守

## 13. 問い合わせ先 ※件名に【中四国】と明記してください。

日本学校教育相談学会中国・四国ブロック研修会 事務局 大西由美（岡山県支部）

申し込み・連絡先 [jascg\\_okym@yahoo.co.jp](mailto:jascg_okym@yahoo.co.jp)

### \*Zoomが初めての方へ\*

Zoomでのオンライン会議は、パソコン、スマホ、タブレットで参加できます。

会議に参加するためには、事前にアプリをインストール（無料）していただき、アカウント（ご自身のメールアドレス等）の設定（無料）が必要です。参加される方は当日までにZoomアプリが使えるよう、準備をお願いします。アプリのインストールは、下のホームページが参考になります。申込確定後にあらためて参加のためのご案内（URL等）をいたします。 <https://zoom.nissho-ele.co.jp/blog/manual/zoom-install.html>

### \*研修修了証について\*

参加された方の修了証は後日メールにてpdf添付ファイルの形でお渡りする予定です。

以上

【2021 オンライン開催版】

以 上